

和歌山県看護連盟 連盟だより

つれもて

＝令和4年度＝ 新年号

第72号

発行者

和歌山県看護連盟
和歌山市太田4-11-18
リベラルパレス太田501
電話 073-488-6575
FAX 073-488-6580

発行責任者

川村 健太



謹賀新年

2023

2023・1 CONTENTS



カンタ

レンコ

「新年のご挨拶」	和歌山県看護連盟 会長 川村 健太	2
「新年を迎えて」	和歌山県看護協会 会長 東 直子	3
「新春にむけて」	衆議院議員 あべ 俊子	4
「新年を迎えて」	衆議院議員 たかがい 恵美子	5
「ごあいさつ」	参議院議員 石田 まさひろ	6
「新年のごあいさつ」	参議院議員 友納 りお	7
第26回参議院選挙のまとめ		8
青年部活動報告		9
入会のご案内・編集後記 他		12



新年のご挨拶

和歌山県看護連盟 会長 川村 健太

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、和歌山県看護連盟活動にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

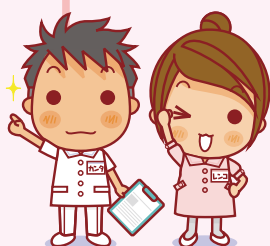
新型コロナウイルス感染症による社会活動の制限については緩和されつつありますが、看護職の皆様の日々現場で新型コロナウイルス感染症に対応いただいている姿に敬意を表します。

昨年は第 26 回参議院選挙において、私たちの組織代表である「とものうりお氏」が 174,335 票を獲得し、全国比例自民党（特別枠を除く）31 名中 9 位という成績で初当選を果たすことが出来ました。看護を守ることは命を守ることです。人員配置や働き方、処遇、子育てとの両立など看護職の環境を整えるため、各代表議員が国政の場で活躍してくれております。

さて、有田支部におきまして看護連盟に待機児童問題の声が寄せられました。学童保育の年度途中での受け入れが難しく、看護職だけでなく、町民が仕事復帰できずに困っているとの声でした。早急に有田支部長が要望書を提出し、議員と掛け合い、受け入れの問題を解決することが出来ました。このような皆様の声が、看護職の支援に繋がり地域を支えることができます。今後も意義ある活動、また成果に繋げるよう動いてまいります。昨年は和歌山知事選挙もありました。看護連盟も推薦する岸本周平氏が当選され、和歌山で安心して暮らせる社会をともに作っていきたくて考えております。今年は地方統一選挙もあります。皆様の声を届け、県や各市町村の医療の質を高めるために活動してまいります。

気持ち新たにスローガン「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」のもとに会員の皆様と共に進んでまいります。

皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

公益社団法人 和歌山県看護協会

会長 東 直子

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お気持ちも新たに令和5年の晴れやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、和歌山県看護協会事業推進にご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、3年経った今も世界で感染拡大を繰り返しています。新型コロナウイルス感染症への対応において医療・地域でさまざまな形で多くの方々の命と健康を守るためにご尽力いただいている看護職をはじめ全ての皆様に、改めて敬意と感謝を申し上げます。

本協会におきましては、「看護職派遣調整事業」「新型コロナウイルス感染症対応潜在看護職研修事業」「新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止相談事業」などに取り組んでいるところです。

昨年を顧みますと、第26回参議院選挙におきまして「友納 理緒」氏を国政の場に送ることが出来ました。異例の短期決戦でありましたが、連盟と協会が連携を図り一丸となり活動した成果だと思っております。

さて、2025年に向けた地域医療構想、地域包括ケアシステムの推進さらには、2040年を見据えた社会保障制度改革、働き方改革が進められています。このような中、看護活動の場は地域・在宅と拡大し、「あらゆる健康段階の人々に切れ目のない看護の提供」が求められています。さらに、2024年4月に向けて医師が行っている業務の一部を多職種に移行するタスク・シフト/シェアが推進されています。今後、様々な業務に多職種とかがわっていく中で看護職は、専門職としての役割を再認識し看護業務を見直すことが重要と考えています。

さらに、出生率の減少にともない看護職の養成・確保は重要になってきています。同時に看護職が安心して働き続けられる環境を構築し、離職防止・定着に努めることが喫緊の課題です。

岸田内閣の下で、看護職の処遇改善が進められています。医療職俸給表(三)の級別標準職務表が改正されました。看護職のキャリアアップに伴う処遇改善に向けて看護連盟と看護協会の二つの組織が連携・協働することが大切です。看護職一人ひとりが果たす役割を考えて活動してまいりましょう。

結びにあたり、本年が皆様にとって幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





新春にむけて



衆議院議員

あべ 俊子

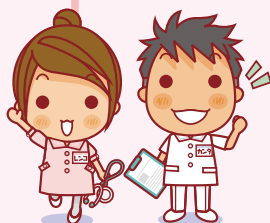
新年あけましておめでとうございます。

元日のすがすがしい朝の空気は、いつでも初心を思い起こさせます。今年は「拓」の文字を心に刻み、活動してまいりたいと思います。「拓」には“物事が始まる、開拓する”の他に、“物事がよい方へ向くように努める”という意味もあります。時代は大きく動き、多くの事柄が変化しています。一年の計は元旦にありと言いますが、このような変化に対して「自分が何をできるか、何をすべきか」について決意を新たにしています。

時代は大きく動いています。昨年は世界情勢の変動による物価高、更なる技術革新、コロナ禍による DX 化の推進など、多くの事柄が急速に変化しました。このような変化を看護業務の効率化、看護の専門性の向上、地域医療の推進にどのように繋がられるだろうか、といつも考えています。コロナ禍では、現場の看護師不足が顕著になりました。これは看護師の絶対数が少ないというのではなく、医療制度の在り方、人員配置、地域医療への移行など、複数の要因が絡まったものです。一つ一つを解きほぐし、より良い看護を提供するための現場に変えていかなければなりません。

自民党本部では、勤務間インターバルについての議論が進んでいます。看護の現場は緊張の連続です。そんな緊張から離れ、休暇と働き方の好バランス、精神的な充実と良い休息・休暇のための勤務間インターバルの法制化を目指しています。

看護師に期待される役割が増えるなか、現場の看護職の業務内容も変化しており、人材確保や研修参加にご理解とご協力をお願い申し上げます。いつの時も、看護の最前線は臨床であり、病院や在宅で看護ケアを提供する皆さまです。政策立案の基本となるのは、現場の声です。人や社会を支える看護が、時勢にもとづいて変革していくことを貴連盟の皆さまと一緒に支えてまいりたいと存じます。





新年を迎えて

衆議院議員

たかがい 恵美子

年頭にあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

和歌山県看護連盟の会員の皆様におかれましては、お健やかで心穏やかな新年をお迎えのことと存じます。麗らかな日日に皆様の穏やかな笑顔が重なります。2023年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。

いのちの最前線で和歌山県民の生命と暮らしを、お守り頂いておりますことに心から感謝を申し上げます。

我が国は、人生100年時代（寿命が100歳前後まで今後伸びていく）にあたり、超高齢化と、かつてない少子化が進むなか働き盛り世代が急激に減少する状況での子育て支援をはじめ、公共政策の関心が大きく転換しつつあります。

自民党では、社会保障制度調査会を強化して、全世代を視野に入れた制度づくりを目指す【全世代型社会保障に関する特命委員会】を設置しました。私も役員の1人として議論を重ね、＜子ども・子育て支援の充実＞＜医療・介護制度の改革＞＜働き方に中立的な社会保障制度の構築＞を中心に報告書を取りまとめ、12月16日に総理へ申し入れを致しました。また、副座長を務めております【幸齢社会実現プロジェクトチーム】では、高齢者も含め全ての国民に活躍の場があり幸せに暮らせる社会づくりのための政策立案を進めております。高齢者のための就労支援や健康維持策、デジタル化を利用した見守り支援と健康相談等、その実現に向けて取り組んでまいります。

委員長を務めておりました人生100年時代戦略本部女性の生涯の健康に関する小委員会は、プロジェクトチームと名称を変更し、参議院選挙公約に盛り込みました「女性の人生100年健康ビジョン」、ひとり一人が思い描くウィルビーイングの実現に向け、引き続き尽力してまいります。

穏やかならざる世情の鎮撫を願い、また御活躍される皆様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。本年も、ご指導たまわりますよう宜しくお願い申し上げます。





ごあいさつ



参議院議員

石田 まさひろ

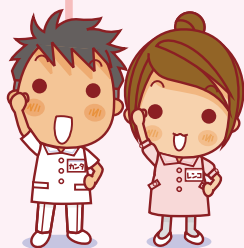
和歌山県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと存じます。新型コロナ禍における多くの困難の中、医療の最前線に立ち続け、地域の健康を守るために力を尽くされている皆様に心より感謝と敬意を申し上げます。

第 210 回臨時国会より、議院運営委員会理事、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命致しました。議院運営委員会は本会議の日程や委員会の開催を決めるなど、国会運営が主な仕事であり、また、国会対策委員会は野党との交渉や与党内の内部調整などが主な仕事です。どちらも目立つことは多くありませんが、国会が円滑に運営され、国民生活を支える法律案を可決させるためには欠けてはならない重要な仕事です。国会運営が円滑に進むよう交渉役として走り回ると共に、引き続き、厚生労働政策を推し進めてまいります。

昨年 11 月、国家公務員看護職の俸給表である医療職俸給表（三）の昇級基準の改正が公表され、長年の課題であったキャリアアップに伴う処遇が改善されます。今回の改正では、看護師長クラスや高度な知識経験を持つ看護師の給与のランクが上がることとなります。これにより、看護師としての経験を積み、責任が大きな立場になると、それに見合っただけでなく給与が上がる仕組みへと前進しました。また、昇格基準の改正の意図を理解し、全国の病院で看護師のキャリアアップに伴う処遇改善を進めるよう、厚生労働省医政局長が都道府県知事などに通知を出しました。看護師の処遇改善は国の意思です。各病院でも、改正に追随するよう、給与表の見直しに取り組んで欲しいと思います。

皆様が「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりのために引き続き尽力して参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。





新年のごあいさつ

参議院議員

友納 りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。コロナ禍、様々な局面で命と向き合い、看護を提供して下さっている皆さまに心より感謝申し上げます。

昨年は皆さまから力強いご支援を賜り、国会に送り出していただきました。7月26日から参議院議員としての任期が始まり、閉会中は、厚生労働省をはじめ各省庁との意見交換や自民党の会議の場で、看護の現場の声をふまえ、課題解決に向けた議論をしておりました。9月1日に開催された自民党の看護問題小委員会では、事務局次長を拜命し、看護職員全体の処遇改善とあわせ、資格管理活用基盤構築の確実な実施、特定行為の周知、看護教員等への幅広い研修体制の充実（ハラスメントなどを含め）などの必要性をお伝えしました。

10月3日から始まった臨時国会では、参議院の厚生労働委員会で初質問の機会をいただき、今後、新たな感染症に対応するためには、処遇、配置、環境など平時からの看護提供体制の強化が必要であること、外来における看護職の人員配置標準を見直す必要があること、訪問看護への支援が必要であることなどを訴えました。12月の閉会直前には、2回目の質問に立たせていただき、障害者総合支援法改正の議論の中で、精神科訪問看護や精神科病院における虐待通報をめぐる課題、看護小規模多機能型居宅介護の利用対象の拡大の必要性などについて取り上げました。この臨時国会中には、長年の懸案事項だった国家公務員医療職俸給表（三）の改正がなされました。

声をあげれば変わることがあります。皆さまの声をしっかりと国政に届ける役割を今後も果たして参ります。

本年4月には、「こども家庭庁」が創設されます。こどもの命を守るため、妊娠前からの切れ目のない支援を行うため、看護職には大きな役割が期待されます。また、全世代型社会保障の実現に向けて、さまざまな政策が加速していきます。

看護の明日をともに作りましょう。本年もどうぞよろしくお願い致します。





第 26 回 参議院選挙のまとめ



和歌山県看護連盟 幹事長 小泉 美穂

令和 4 年 7 月 10 日、第 26 回参議院議員選挙において、看護職代表の「ともう りお」氏が、174,335 票を獲得し自民党公認候補者当選者 18 名中、11 位で当選されました。選挙期間は短期間でありましたが、和歌山県看護協会から多くの協力を得て活動することができました。

< 経過の概要 >

昨年 3 月、看護協会の 8 地区別施設会員代表者会で、「ともう りお」氏が看護職代表となった事、和歌山県看護連盟の目標は、得票数 2,250 票、後援会名簿は 6,700 以上であること、そして知名度アップのために後援会名簿の協力依頼をしました。

5 月 28 日には、近畿圏内の大阪府、京都府、奈良県、和歌山県の 4 府県で「ともう りお決起大会」を開催し、和歌山県から 18 名が参加しました。

7 月 5 日には、ともうりお候補者の顔をラッピングした街宣車を、北は「なだい訪問看護ステーション」から南は「くしもと町立病院前」まで走行し、8 か所で県会議員や町会議員の支援を受け街頭演説を行いました。

その結果、表①のように各市町村で票を得ました。後援会名簿も目標数には達しませんでした、5,261 名でした。

現在、友納議員は年頭の挨拶でもあったように、看護職の処遇改善など多くのことに取り組まれています。

私にとって、今回が初めての選挙でしたが、看護職代表を国会に送り出すと言う責任を果たすことができたのも、多くの皆様のご支援をくださったお蔭と、深く感謝いたします。

【市町村別得票数】

【表①】

名簿登載者名 開票区名	令和4年 ともう りお	令和元年 石田 まさひろ	平成28年 たかがい 恵美子
和歌山市	377	694	397
海南市	105	238	130
橋本市	42	173	72
有田市	27	61	12
御坊市	63	81	53
田辺市	64	60	45
新宮市	19	34	11
紀の川市	78	166	70
岩出市	59	162	64
紀美野町	37	76	56
海草郡	37	76	56
かつらぎ町	31	48	32
九度山町	6	11	11
高野町	0	5	1
伊都郡	37	64	44
湯浅町	7	22	10
広川町	15	28	15
有田川町	34	65	54
有田郡	56	115	79
美浜町	21	30	27
日高町	25	17	35
由良町	24	18	16
印南町	31	28	36
みなべ町	20	16	20
日高川町	38	52	56
日高郡	159	161	190
白浜町	22	18	17
上富田町	21	11	21
すさみ町	1	2	1
西牟婁郡	44	31	39
那智勝浦町	13	25	3
太地町	5	6	1
古座川町	5	8	6
北山村	0	1	0
串本町	46	68	51
東牟婁郡	69	108	61
政令市計	0	0	0
その他の市計	834	1,669	854
町村計	402	565	469
県計	1,236	2,224	1,323

青年部活動報告

和歌山県看護連盟 青年部 古田 雄也

1 近畿青年部ブロックミーティングに参加して

各都道府県の青年部の役割や活動を可視化するため、本部が Facebook でカンタとレンコというアカウントを作成しました。これにより各県の青年部が会員に対して研修を行ったり、どのような活動をしているかが見えるので、オンライン会議等でも十分にディスカッションが出来るようになります。

＜ カンタとレンコ



カンタとレンコ

日本看護連盟 青年部のアカウントです

前回の参議院選挙での反省点も踏まえ、会員に対して看護連盟活動の理解を深めることや各議員の周知徹底、国政での活躍をどう伝えていくかが課題になっています。若手看護師に対して政治意識の向上や役立つ情報の発信をしていくには、発信力のあるSNSの活用が鍵になってきます。グループディスカッションでは、現在和歌山県が進めているSNS活用の計画について、他の都道府県高い評価を得ることができました。

☆『和歌山から伝える!』を目標に、現在和歌山県では、Instagram活用の勉強会に参加したり、SNSを最大限活用できるように再計画中です。

選挙権は18歳に引き下げられているので、看護師だけでなく、看護学生も対象としており、看護学生が必要としている実習で役立つ情報や、就職先の選定に役立つ情報、これから自分達が就職する職業自体の現状や今後の動向などを提供していきます。それにより、学生時代より連盟に対する理解を深めることを目的とします。

2 和歌山県青年部定例会議での内容

- ▶ 12/17 に日高支部で新人対象に初期研修、意見交換会が開かれます。研修では、学生も参加予定となっており、連盟や青年部の活動がわかり、またこれからの未来が想像できるような内容で行います。積極的な意見交換の場になるように青年部メンバーで話し合いました。
- ▶ インスタグラム (SNS) は来年 1 月から開始予定です。現在みんなに楽しんでもらえるような投稿案を考えております。
- ▶ 看護連盟の会員数 UP 計画について
一人でも多くの現場の声を届け、これからの若手看護師が働きやすい環境を作るために会員数の増大をどうすればできるかを話し合いました。まずは各支部の会員数の細かい把握や入退会の理由を明らかにし、比率や目標を掲げ、意味のある活動につなげていきます。

今後の青年部の活動を暖かく見守っていただけると幸いです。



コラム「看護師のワークライフインテグレーションについて」

看護師の皆さんが日々の頑張ってくれているおかげで、地域の方々の生活は守られています。

しかし、看護師や医療関係者の皆さんの日々の Q O L は守られているでしょうか？

ワークライフインテグレーションという言葉をご存知でしょうか。先日滋賀でおこなわれた看護政策セミナーでも議題として取り上げられました。

ワークライフインテグレーションとは・・・

「仕事とプライベートが相乗効果を持って融合することで、仕事もプライベートも充実させることができる」

ワークライフインテグレーション



人生を充実させる

青年部活動報告

要するに、

生活の質と働きやすく働きがいのある仕事で豊かな人生を送ることを追求することができれば働き続けることができると言うことです！

僕もプライベートで嬉しい出来事があれば、仕事のやる気も上がり、業務をさらに頑張れたという経験は、何度となく経験しています。皆さんはどんな時に幸せを感じますか？

私が考えるワークライフインテグレーションを導入するメリット

1. ダイバーシティの実現できる。
2. スタッフのモチベーションが上がる。

もちろんメリットは他にもあるとは思いますが、今回はこちらにフォーカスを当ててみようと思います。

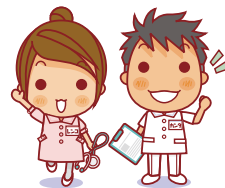
働き方改革で人々の仕事に対する意識も変化を見せ、多様性にとんでいます。終身雇用の撤廃や、物価の高騰など、将来への不安から副業や資産運用を始める人々も急増しているのも現状です。コロナ渦以降、インターネットを利用した、テレワークなども普及し、今まで会社でおこなうのが当たり前だった会議などがオンラインで完結し、職種によっては場所を選ぶ必要がないものも増えてきています。看護師の世界でも、活躍の場が増え、働き方も多様化してきています。

病院のみならず、在宅での訪問看護や「ザ・トラベルナース」という派遣看護師を題材にしたドラマも話題になりました。

そして私が最近面白いと思ったのは、フリーランスのアートメイク看護師として働いている人がいることです。まさに多種多様な働き方が生まれています。多種多様な働き方が生まれる一方で、看護師の人材不足も懸念されます。人手不足による業務の多忙さ、人の命を扱うという他の職種とは異なるストレス、責任の重さ、コロナの影響で、医療職であるが故に余暇時間を自由に過ごすことができないストレス。様々な要因が重なり、新人看護師の離職率が高まっています。

現在、公的病院などでは、副業や働き方の選択肢は少なく、看護師のQOL向上やストレス緩和のためにも病院や施設がワークライフインテグレーションの考えを取り入れ、個別性を尊重していくべきではないでしょうか。

例えばお気に入りのカフェで働きながら看護師をしたり、ネイルリストをしながら看護師もしたいとの声も実際に聞かれます。もちろん実務に影響が出ないようにする前提での話にはなりますが、これからの100年時代を、長く看護師として働くモチベーションを上げるためには、様々な働き方を選択できるようにすることも必要な時代に突入しているのかもしれない。





看護の未来を作るのは、会員一人ひとりの力です！ = 2023 年度会員募集しています =

正会員	年会費合計 8,000 円	➔	和歌山県看護連盟 年会費 3,000 円	+	日本看護連盟 年会費 5,000 円
特別会員	年会費 8,000 円	➔	現在、看護協会会員でなくても、正会員の履歴があれば入会できます。		
賛助会員	年会費 1,000 円	➔	看護職ではない方で、和歌山県看護連盟の活動に賛同してくださる方		
学生会員	無 料				

2022 年 12 月末現在
会員数は 1,251 名

現職を退職された後も、看護の未来のために、看護連盟会員としてぜひ継続を！
友人、知人でまだ会員でない方がおられましたら、入会をすすめていただき会員増をめざしましょう。
入会申し込みは、和歌山県看護連盟までご連絡ください。



本年も新型コロナウイルスによる影響が懸念されております。
世界的には未だに収束に至っておらず、まだまだ予断を許さない状況にあります。
看護職の皆様方には長期にわたり対応していただき感謝申し上げます。
どうかお身体を大事にされ、この状況を共に乗り越えていきましょう。
(広報委員一同)



東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、
幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 学校保健委員会
- メンタルヘルス研修
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元バーコードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44フリーコール



0120-32-7766